

## BMC 海外派遣報告

化学専攻 構造有機化学研究室

M2 小西 彬仁

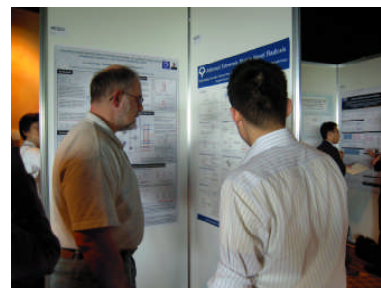
参加学会(会場)：① ISNA-13/13th International Symposium on Novel Aromatic Compounds(ルクセンブルグ、ルクセンブルグ市、L'Hémicycle , Conference Center)

② ISNA-13 Satellite meeting: Diradicals and Multiradicals: Theory and Experiment(ベルギー、ナミューール、FUNDP, CH3 auditorium)

派遣期間：7月18日～7月30日

BMC プログラム・海外派遣のご支援の元 私は、ルクセンブルグにて行われた『ISNA-13/13th International Symposium on Novel Aromatic Compounds』、続いてベルギーにて行われた『ISNA-13 Satellite meeting: Diradicals and Multiradicals: Theory and Experiment』に参加し、ポスター発表を行いました。

私にとって初めての海外での国際学会であり、非常に有意義な経験を得ることができました。ISNA-13 は構造有機の学会では世界最大の学会であり、各国からの著名な先生から最先端の研究について非常に興味深い話をうかがう事ができました。” $\pi$ 電子系の化学はここまで進展しているのか”、“この発想は自分の研究にも生かせそうだ”、など刺激のかつ発展的な講演ばかりでした。



また、ポスターセッションでは各国の先生方・学生方と活発な議論を展開する事ができました。拙い英語で議論の展開に苦労はしましたが、近い距離で議論する事により、自分の研究・発想が海外の研究者にも理解される・興味をひくという事を実感する事ができました。



Satellite meeting では少人数でより専門的な分野について議論する事ができました。より突っ込んだ議論を通じて、もっと英語の力、特に、こちらから提案できるだけの英語の力をつけなければならぬと痛感しました。相手の言っている事は理解できても、それに対してこちらが”それは違う。こう考えている”ということになかなかうまく言えなかったのが反省点であります。

これらの学会への参加は、今後の研究に対するモチベーションや指針について非常によい刺激となりました。”もっとやってやろう”という気持ちになる事ができました。最後になりましたが、このような機会を与えてくださった構造有機化学研究室内の皆様、経済的なご支援をいただいた BMC プログラムの関係者の皆様に深く感謝致します。